

令和2年度研究成果に関する外部有識者意見聴取の結果について

令和3年(2021年)3月31日
山口県農林総合技術センター

1 目的

研究成果の公表にあたり、現場での活用可能性、新規性、フォローアップや確認試験の必要性について外部有識者から幅広い視点や専門的な観点から意見を聴き、意見を踏まえた対応方向等今後の研究開発に活かす。

2 対象課題

令和2年度にセンター内部の完了評価を受けた単県研究課題

3 外部有識者の選定

1課題4名の外部有識者を次の①～④の区分から1名ずつ選定し、別添の調査票により令和3年3月に意見を聴取した。

①学識経験者：国立大学法人 山口大学

②他の研究機関：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター、
国立研究開発法人森林研究整備機構 関西支所

③農業関係団体：(公財)やまぐち農林振興公社、全国農業協同組合連合会中四国営農資材事業所、
(公社)山口県畜産振興協会、山口県森林組合連合会

④消費者団体：山口県地域消費者団体連絡協議会

4 結果

No.	課題名	総合評価 ^{※2}	評価内訳 ^{※1} (人)		
			A	B	C
R02-01	集落営農法人の収益向上に寄与する地域農業の6次産業化の事業拡大要因の解明とモデル実証	一定の成果が得られた	0	4	0
R02-02	はなっこりーの新品種等に対応した鮮度保持フィルムの開発	十分な成果が得られた	2	2	0
R02-03	「茶葉」の保存、周年供給技術の確立	十分な成果が得られた	2	2	0
R02-04	県産プレミアム地鶏の美味しさに関する研究	十分な成果が得られた	2	2	0
R02-05	県内水田農業の担い手に適応したスマート農業の導入	一定の成果が得られた	0	4	0
R02-06	山口ナシを構成する新たな品種の導入	十分な成果が得られた	2	2	0
R02-07	大豆の落葉性病害の発生要因の解明と対策	十分な成果が得られた	3	0	1
R02-08	新たな需要を開拓するオリジナルユリ育成と増殖産地拡大に対応する増殖方法の確立	十分な成果が得られた	2	2	0
R02-09	暖地リンドウにおける長期継続出荷を可能とする耐暑性品種シリーズの育成と均一栽培および促成栽培技術の確立	十分な成果が得られた	2	2	0
R02-10	県産プレミアム地鶏の改良増殖に関する研究	十分な成果が得られた	4	0	0
R02-11	放牧牛確保のための誘導・捕獲技術の開発	一定の成果が得られた	0	4	0
R02-12	抵抗性クロマツ植栽後管理と資質向上に関する研究	一定の成果が得られた	1	3	0

※1 評価基準

A：山口県の生産・流通・加工等の生産現場で活用可能性が高い。

B：生産現場での確認等の普及支援を行うことにより現場で活用が可能。

C：追試や確認試験が不可欠・現場で活用可能性が低い。

※2 総合評価

Aが過半数の場合：十分な成果が得られた。

AとBを合計が過半数：一定の成果が得られた。

上記以外：成果が得られなかった。

※3 その他寄せられた主な意見等は別紙参照

5 その他

当センターホームページを通じて令和3年3月1日から令和3年3月19日までの間、一般県民から対象課題に関する意見募集を実施し、寄せられた意見は0件であった。